

中小企業景況調査報告書

令和5年 4 ~ 6月期 実績
令和5年 7 ~ 9月期 見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和5年7月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9~ +10.0	 まあまあ +9.9~ ▲9.9	 不振 ▲10.0~ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和5年4~6月期を対象とし、調査時点は令和5年6月1日とした。
令和5年7~9月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・始良市・湧水町・霧島市
志布志市・大崎町・垂水市・錦江町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 208業
製造業：44企業 建設業：30企業 小売業：58企業 サービス業：76企業

県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
4年 4月 ~ 6月期	 ▲29.6	 ▲6.7	 ▲25.4	 ▲26.7
4年 7月 ~ 9月期	 ▲34.1	 ▲6.7	 ▲33.9	 ▲23.4
4年 10月 ~ 12月期	 ▲11.4	 ▲3.3	 ▲23.7	 ▲14.3
5年 1月 ~ 3月期	 ▲7.0	 ▲16.7	 ▲25.9	 ▲24.7
5年 4月 ~ 6月期	 ▲2.3	 6.7	 ▲5.2	 3.9
来期見通し(7~9月期)	 6.9	 ▲3.3	 ▲8.8	 0.0

総合(業況)

前年同期(令和4年4月~6月期)と比較した今期(令和5年4月~6月期)の業況は、製造業▲2.3(前年同期比27.3ポイント改善)、建設業6.7(前年同期比13.4ポイント改善)、小売業▲5.2(前年同期比20.2ポイント改善)、サービス業3.9(前年同期比30.6ポイント改善)となった。

今期については、新型コロナが5類感染症に移行となりイベントの開催やインバウンド消費の回復などで日常に戻りつつあり、全ての業種において改善の兆しが見え始めた。

また前期(令和5年1月~3月期)も比較すると、製造業4.7ポイント、建設業23.4ポイント・小売業20.7ポイント・サービス業28.6ポイント全業種改善となった。

なお、来期(令和5年7月~9月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業9.2ポイント・サービス業3.9ポイント改善するものの、建設業は10ポイント・小売業3.6ポイント悪化となる見通しとなる。4月になり電気料金や送料をはじめ、調味料等の原材料費も軒並み価格上昇となり、売上は回復となっても、ゼロゼロ融資の返済も始まり、採算や資金繰りなど中小企業は依然として厳しい状況にある。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 44 企業

調査対象企業内訳：食料品 (21)，飲料・飼料・たばこ (6)，一般機械器具 (2)，家具・装備品 (2)，木材・木製品 (3)，プラスチック製品 (1)，印刷・同関連 (4)，金属製品 (3) 窯業・土石製品 (1)，その他 (1)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年 4月～6月期		▲20.4		▲37.2		▲9.1		▲29.6
4年 7月～9月期		▲16.3		▲45.4		▲11.4		▲34.1
4年 10月～12月期		4.6		▲6.9		▲9.1		▲11.4
5年 1月～3月期		▲6.8		▲25.0		▲9.3		▲7.0
5年 4月～6月期		▲18.2		▲15.9		▲2.3		▲2.3
来期見通し(7～9月期)		0.0		▲13.9		7.0		6.9

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・材料費がかさんでいるが、これまでの材料から変えるのも難しく困っている。(生菓子製造業)
- ・仕入単価の上昇により受注先に売上単価の引上げに難色を示されることもあり、ようやく理解してもらえようになった。しかし7月より紙製品の仕入単価が改正され引上げられるので今後の経営が懸念される。(印刷業)
- ・コロナ禍からの回復により、需要は増加傾向にあり売上は好調であるが、生産に関する人材が不足している。又原材料、資材の値上がりにより利益率が減少している。(蒸留酒・混成酒製造業)

経営上の問題点

第1位 原材料価格の上昇	52.5%	(前期比 +6.2)
第2位 従業員の確保難	10.0%	(前期比 -2.2)
第3位 需要の停滞	7.5%	(前期比 +0.2)
第3位 製品ニーズの変化	5.0%	(前期比 +0.1)

【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業 (21)，職別工事業 (5)，設備工事業 (4)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
4年 4月～6月期		▲6.7		▲16.7		▲3.3		▲6.7
4年 7月～9月期		10.0		▲23.3		0.0		▲6.7
4年 10月～12月期		6.6		▲16.7		▲10.0		▲3.3
5年 1月～3月期		▲13.4		▲36.6		▲13.3		▲16.7
5年 4月～6月期		10.0		▲13.4		6.6		▲6.7
来期見通し(7～9月期)		13.4		▲3.4		10.0		▲3.3

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・担い手の確保・定着に苦慮し、あふれる情報に敏感な若者達に向けて休日の確保や賃上げに踏み切った。安定した仕事量と先の見通しがたつてこそだが、体力のある大手企業と比べると、中小企業の賃上げには限界がある。(一般建築土木工事業)
- ・昨今の働き方改革の推進により、工事工程が延びる方向にある為、計画により長く見積もって完成予想を立てないとならない為、それにより短期、早期着工及び完成が遅れ。結果、売上は思うように伸びず、経費はかさんでいく。(一般土木建築工事業)

経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	46.2%	(前期比 -5.8)
第2位 従業員の確保難	23.1%	(前期比 +15.1)

【小売業】 有効回答数 58 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(25)，各種商品(2)，織物・衣服・身の回り品(6)，家具・建具(5)
自動車・自転車小売業(1)，その他(19)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年4月～6月期		▲20.4		▲32.8		▲22.4		▲25.4
4年7月～9月期		▲22.1		▲33.9		▲20.3		▲33.9
4年10月～12月期		▲20.4		▲28.8		▲18.6		▲23.7
5年1月～3月期		▲11.9		▲33.9		▲18.6		▲25.9
5年4月～6月期		▲5.2		▲20.7		▲15.6		▲5.2
来期見通し(7～9月期)		▲7.1		▲24.1		▲17.3		▲8.8

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・ボタン1つで24時間いつでもどこでも注文ができ送料無料、来店不要となれば、小売店の存在がなくなってくるのではないかと不安である。(スポーツ用品小売業)
- ・光熱費、材料包装材費がここまで増加してくれば、削減できるのは人件費以外なく、アルバイトなしの状況での営業をしている。夏場はまだ良いが、秋から春はどうしても人手が必要なので、どう対応していくべきか。(菓子小売業)
- ・エネルギー需要の低下は、時代の流れとして止められるものではないが、地方においてはまだまだ必要なものと考えてるので、いろいろな視点からのバックアップというものを望んでいる。(ガソリンスタンド)

経営上の問題点

第1位 仕入単価の上昇	40.0%	(前期比 -8.1)
第2位 購買力の他地域への流出	16.0%	(前期比 +8.6)
第3位 需要の停滞	4.0%	(前期比 -5.3)

【サービス業】 有効回答数 76 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(19)，飲食店(25)，自動車整備業(10)，宿泊業(8)
運送業(1)，その他(13)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年4月～6月期		▲15.6		▲37.7		▲17.1		▲26.7
4年7月～9月期		▲15.6		▲31.2		▲24.7		▲23.4
4年10月～12月期		▲6.5		▲36.4		▲13.1		▲14.3
5年1月～3月期		▲16.9		▲37.7		▲20.8		▲24.7
5年4月～6月期		18.5		▲22.3		▲1.4		3.9
来期見通し(7～9月期)		7.9		▲22.6		▲5.3		0.0

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・コロナが5類に下がり、人の活気が感じられるようになった。また、損益分岐点を超えるようになり、利益も順調に増えてきた。(食堂・レストラン)
- ・昨年度は宿泊支援事業の効果で宿泊客増の収益好調であったが、今年度は助成率が減少したため連動して収益も減少した。来期夏休みシーズンの宿泊の助成が無いいため、相当の減益が見込まれ不安が大きい。(簡易宿泊所)
- ・前期と比べて車検台数が伸びているが、新車購入者はなく、景気の悪さを感じる。(自動車整備業)

経営上の問題点

第1位 材料等仕入単価の上昇	50.7%	(前期比 +5.6)
第2位 利用者ニーズの変化	8.2%	(前期比 -0.3)
第3位 需要の停滞	8.2%	(前期比 -1.7)

全産業【鹿児島県】

2023年4月期～6月期

	今期 (前年同期比)					来期 (対前年同期比来期見通し)				
	企業数	⇒	∨	◇	D I	企業数	⇒	∨	◇	D I
売上・完成工事・加工・収入額	208	34.6	41.3	24.0	10.6	207	25.1	52.7	22.2	2.9
売上 (加工) 単価・客単価	178	24.7	63.5	11.8	12.9	177	15.8	68.9	15.3	0.6
売上 (加工) 数量	44	29.5	36.4	34.1	-4.5	44	22.7	50.0	27.3	-4.5
客数	58	15.5	50.0	34.5	-19.0	58	15.5	58.6	25.9	-10.3
利用客数	76	31.6	46.1	22.4	9.2	76	26.3	46.1	27.6	-1.3
資金繰り	207	9.2	77.3	13.5	-4.3	207	10.1	75.8	14.0	-3.9
輸出額	21	4.8	95.2	0.0	4.8	21	0.0	100.0	0.0	0.0
受注 (新規契約工事) 額	30	23.3	53.3	23.3	0.0	30	33.3	53.3	13.3	20.0
原材料・商品等仕入れ単価	207	83.6	16.4	0.0	83.6	207	70.0	28.0	1.9	68.1
原材料在庫数量	43	11.6	81.4	7.0	4.7	43	2.3	88.4	9.3	-7.0
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	57	57.9	28.1	14.0	43.9	57	43.9	40.4	15.8	28.1
商品・商品在庫数量	102	7.8	81.4	10.8	-2.9	102	3.9	85.3	10.8	-6.9
採算 (経常利益)	208	10.6	59.6	29.8	-19.2	206	9.2	63.1	27.7	-18.4
従業員 (含臨時・パート)	188	5.3	84.0	10.6	-5.3	187	3.7	79.1	4.3	-0.5
外部人材 (請負・派遣)	124	4.0	91.1	4.8	-0.8	126	1.6	94.4	4.0	-2.4
設備操業率	43	9.3	74.4	16.3	-7.0	44	9.1	75.0	15.9	-6.8
引合	70	20.0	67.1	12.9	7.1					0.0
受注・契約残	73	13.7	71.2	15.1	-1.4					0.0
業況 (自社)	207	16.9	66.7	16.4	0.5	207	14.5	69.6	15.9	-1.4

	今期 (前期比)					来期 (対当期比見通し)				
	企業数	⇒	∨	◇	D I	企業数	⇒	∨	◇	D I
売上・完成工事・加工・収入額	206	33.0	46.6	20.4	12.6					
売上 (加工) 単価・客単価	175	19.4	67.4	13.1	6.3					
売上 (加工) 数量	43	20.9	48.8	30.2	-9.3					
客数	57	26.3	47.4	26.3	0.0					
利用客数	76	22.4	57.9	19.7	2.6					
資金繰り	205	8.8	79.5	11.7	-2.9					
業況 (自社)	208	14.9	71.6	13.5	1.4	207	11.1	73.4	15.5	-4.3
受取手形期間	48	2.1	97.9	0.0	2.1	49	2.0	95.9	2.0	0.0
長期資金借入難度	167	2.4	90.4	7.2	-4.8	166	2.4	89.8	7.8	-5.4
短期資金借入難度 (含手形割引)	151	2.6	91.4	6.0	-3.3	150	2.7	92.7	4.7	-2.0
借入金利	165	4.2	94.5	1.2	3.0	165	4.8	94.5	0.6	4.2

	今期の水準				
	企業数	⇒	∨	◇	D I
業況 (自社)	207	11.6	66.2	22.2	-10.6
生産に対する原材料在庫	43	2.3	88.4	9.3	-7.0
売上に対する製品在庫	101	5.9	88.1	5.9	0.0
採算 (経常利益)	208	18.8	65.9	15.4	3.4
引き合	71	12.7	76.1	11.3	1.4
生産設備	43	0.0	81.4	18.6	-18.6
従業員 (含臨時・パート)	192	0.5	78.1	21.4	-20.8

上2表

⇒ : 増加・上昇・好転・長期化・容易
 ∨ : 不変
 ◇ : 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

⇒ : 良い・過剰・黒字・活発
 ∨ : ふつう・適正・収支トントン・ふつう
 ◇ : 悪い・不足・赤字・低調